



2025 年 6 月 25 日

各 位

会社名 モリテック スチール株式会社
代表者名 代表取締役社長 門 高 司
(コード番号 5986 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 田 中 正 三
(TEL 06-6762-2721)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、持続的な成長と中長期での企業価値向上を図るため、現状の分析・評価を行い、改善に向けた取組みを行ってまいりました。

本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、下記のとおり対応方針を審議・決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、株主・投資家に向けた情報開示を充実すべく、中期経営計画の方針を今後開示する予定です。

記

1. 現状分析と評価

当社の PBR は過去 5 年間 0.3～0.8 倍の間で推移しております。これは、ROE 水準が安定しておらず、当社の株主資本コストが推計 8～9%程度であることから、十分なエクイティ・スプレッドを実現できていないためであると分析しております。

具体的には、過去 5 年間の ROE（自己資本利益率）の推移を見ると、2021 年 3 月期にはコロナ禍の影響を受けて業績が大きく低下しました。2023 年 3 月期は、中川産業株式会社を買収し連結売上高は成長しましたが、鋼材価格や電力その他諸費用上昇分の価格転嫁も途上で収益が圧迫されたこと、さらに固定資産の減損損失を計上したことにより、マイナスにまで落ち込みました。当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いており、ROE は低位水準で推移しています。

以上の結果から、PBR が 1 倍を下回る水準で現在も続いているものと認識しております。株価は当社の施策だけでなく様々な要因で推移するものの、今後とも更なる改善が必要と認識しております。

	2021/03	2022/03	2023/03	2024/03	2025/03
P B R（倍）	0.8	0.6	0.6	0.4	0.3
P E R（倍）	－	29.3	－	18.4	12.0
R O E（％）	△2.5	2.0	△5.4	2.3	2.3
売上高利益率（％）	△1.5	0.9	△1.9	0.6	0.7
総資産回転率（回）	1.0	1.2	1.2	1.4	1.4
財務レバレッジ（倍）	1.8	1.8	2.3	2.7	2.5
連結売上高（百万円）	22,292	27,564	36,334	50,774	50,498
営業利益（百万円）	△437	204	△75	260	396

2. 対応方針

当社は、「3つのステージ」と呼ばれる成長戦略のもと、ROE 8％、PBR1 倍以上を最終目標として目指します。当該目標を達成するため、以下の具体的な取組みを実行します。

3. 具体的な取組み

(1) 収益力の向上

当社は、各事業部門において収益力の向上に取り組めます。

商事部門

商事部門については、2023 年 3 月期に連結子会社化した中川産業とのシナジー効果を発揮させる取組みを加速して参ります。特殊帯鋼の取り扱いと自動車産業向け販路に強みを持つ当社と、ステンレス鋼の取り扱いと家電・半導体向け販路に強みを持つ中川産業とは、商材や調達ルートで相互補完関係にあるだけでなく、双方の業界への販路拡大が期待できます。加えて、鋼材のスリット加工を内製化するなどグループ一体となった競争力の強化に努めてまいります。

焼入鋼帯部門

焼入鋼帯部門については、海外メーカーとの競争が激しくなる中、円安を追い風とした海外マーケットの新規創出と国内向け販路拡大を進めてまいります。

鋁金加工品

鋁金加工品部門については、労務費や動力費、原材料価格の上昇分を販売価格に転嫁し、適正価格での販売を図ってまいります。また、引き続き変動費や経費の削減に努め、原価の低減に取り組んでまいります。加えて、今後も自動車産業においてはE V化の進展が予想され、内燃機関係自動車部品を取り巻く環境は、さらに厳しさを増すことが見込まれます。このような環境の変化を踏まえ、国内外での生産能力の適正化を進めるとともに、拡大するE V需要へ迅速に対応するなど、事業構造改革を加速してまいります。かねてより、けいはんなR & Dセンターを研究開発拠点として、次世代自動車領域への開発部門を設置し新製品の開発に注力しており、多様なニーズに応えたE V充電器のバリエーションを増やすことで大手需要家からの受注も着実に増加しております。今後さらに顧客発掘に努め、EV 充電器に付帯する分野の製品開発にも取り組み、需要の取り込みを図ってまいります。また、日本政府は2030年に30万口のE V充電器の整備を目標にしておりますが、その10%以上のシェア獲得を目指し、拡販に努めてまいります。E V充電器の拡充だけでなく、現有設備を活用した脱炭素に貢献する製品の取り組みを推進いたします。

海外事業

海外事業については、米国の関税措置の影響が予想され、市場の変化に合わせ海外拠点を集約するなどの見直しを進めてまいります。また、新規需要開拓を積極的に推進し、拡販に努めてまいります。

(2) 配当政策

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のための内部留保を確保しつつ、安定的、かつ、継続的に配当を実施していくことを基本方針とし、配当を実施してきました。今後につきましても、安定配当を維持していきます。

	2020/03	2021/03	2022/03	2023/03	2024/03	2025/03
1株当たり配当金（円）	8.00	3.00	4.00	3.00	4.00	4.00

(3) 政策保有株式

当社は、政策保有株式保有の基本方針を掲げ、買い増しや処分の要否を検証してまいりました。今後につきましては、政策保有株式の縮減に向けた対応を検討してまいります。

(4) IR 活動の充実

当社は、2025 年 6 月に「モリテックスチールサステナビリティ基本方針」を制定するとともに、サステナビリティ情報の開示を充実しました。具体的には、「人権方針」及び「労働安全衛生方針」「品質方針」「環境方針」を当社ホームページにて開示し、特定したマテリアリティ（重要課題）への対応を進めていきます。今後につきましても、IR 関連活動の発信に積極的に取り組んでまいります。

以 上